

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	5011	(H.24)No.	5011
-----------	------	-----------	------

事務事業名	斎場管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	
生活環境部	環境対策室	藤野 泰司	

会計区分	事業コード	253501
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	斎場管理費
項	保健衛生費	(小事業名)
目	斎場管理費	斎場管理費

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	4	斎場・墓地
	小施策	1	斎場
重点施策コード			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
斎場の適切な維持管理及び運営を行う。
事業内容
斎場利用者が、今後も安心して斎場を利用できるように、施設設備の維持管理及び運営を適切に行う。 また、小動物の収骨を伴う火葬を継続するなど、市民のニーズに応えた事業を行う。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)	H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>火葬(死産児含む) 979件</li> <li>身体の一部・胞衣物 489件</li> <li>小動物(納骨なし) 1,178件</li> <li>小動物(納骨あり) 288件</li> <li>霊安室利用 11件</li> <li>待合室利用 15件</li> </ul> ・施設管理運営業務の長期継続契約(平成24年度から3年間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>火葬(死産児含む) 980件</li> <li>身体の一部・胞衣物 485件</li> <li>小動物(納骨なし) 1,180件</li> <li>小動物(納骨あり) 261件</li> <li>霊安室利用 14件</li> <li>待合室利用 12件</li> </ul> ・火葬業務に支障をきたす恐れのある箇所の修繕(一部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切かつ安全な施設の維持管理及び運営</li> <li>火葬業務に支障をきたす恐れのある箇所の修繕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切かつ安全な施設の維持管理及び運営</li> <li>斎場予約システムの更新又は新規購入</li> <li>施設管理運営業務の長期継続契約</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切かつ安全な施設の維持管理及び運営</li> </ul>

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	31,124千円	30,592千円	36,632千円	37,092千円	30,000千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他( )	20,820	20,423	20,423	20,423	20,423
一般財源	(0) 10,304	10,169	16,209	16,669	9,577
人工数					
職員	0.70人	0.70人	0.70人	0.70人	0.70人
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 5,390千円	5,390千円	5,390千円	5,390千円	5,390千円
+ 総事業費	(0千円) 36,514千円	35,982千円	42,022千円	42,482千円	35,390千円

## 4. 担当室による事務事業の点検 (\*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
遺族の心情に配慮し、故人の尊厳を傷つけることなく運営することが出来た。	今後とも利用者からの意見を踏まえつつ、尊厳ある運営に取り組む。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	適正な管理運営をすることにより、快適な生活環境づくりに貢献している。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
問題なく運営されているため現状どおり継続する。	